学校番号	３１８

令和８年度　理科

教科	理科	科目	生物	単位数	４単位	年次	３年次
使用教科書	高等学校　生物　（啓林館）						
副教材等	エッセンスノート　生物　（啓林館）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

生物基礎で学んだ知識をもとに、生命現象について分子レベル（「ミクロの眼」）と地球レベル（「マクロの眼」）の両方の視点でさらに広い範囲を深く学びます。私たち「人間」は180万種以上ある生物種のなかの「ヒト」という 1 つの種です。より深く生物学を学ぶことによって「私たち自身の成り立ち」についても考えましょう。

2　学習の到達目標

生物や生物現象に対する探究心を高め，目的意識をもって観察，実験や，実験のデータなどの分析を行い，生物学的に探究する能力と態度を身につける。生物学の基本的な概念や原理･法則の理解を深め，科学的な自然観を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生物や生物現象について、基本的な概念や原理･原則を理解し、知識を身に付けている。また、観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、自然の事物･現象を科学的に探究する技能を身に付けている。	生物や生物現象の中に問題を見いだし、探究する課程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを適切に表現している。	日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象の関係に関心をもち、意欲的に探究しようとするとともに、生物の共通性と多様性を常に意識するなど、科学的な見方や考え方を身に付けている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	**第1部 生物の進化**	第1章 生物の進化 第1節 生命の起源 第2節 生物界の変遷と地球環境の変化 第2章 有性生殖と遺伝的多様性 第1節 有性生殖 第2節遺伝子の多様な組み合わせ 第3章 進化のしくみ 第1節 突然変異と進化 第2節 進化の要因 第4章 生物の系統(7) 第1節 生物の分類と系統 第2節 3ドメイン 第3節 細菌ドメイン 第4節 アーキアドメイン 第5節 真核生物ドメイン 第6節 人類の起源と進化	a: 生命の起源と生殖のしくみ、生物進化の道筋について学び，生物進化がどのようにして起こるのかを理解する。 b: 資料や実験をもとに、進化に共通する性質を見出し表現することができる。進化について、生物学的な視点から考察することができる。 c: 様々な生物の比較に基づいて、生物は多様でありながら共通性を持っていることを見出して理解しようとする。	定期考査 小テスト	定期考査 実験 小テスト 探究活動	学習記録 探究活動
	第2部 生命現象と物質	第5章 生命と物質 第1節 物質と細胞 第2節 生命現象とタンパク質 第6章 代謝 第1節 代謝とエネルギー 第2節 呼　吸 第3節 光合成	a: 生命活動に必要なエネルギーを、呼吸や光合成から得ていることを理解している。 生体内で行われる化学反応は、酵素が触媒していることを理解している。 b: 資料や実験をもとに、生物に共通する性質を見出し表現することができる。呼吸や光合成からエネルギーを得る方法を、関連づけて考察し、それを表現できる。 c: 資料に基づいて、生命活動にエネルギーが必要であることを理解しようとする。 体内で行われている化学反応は、酵素がかかわっていることを理解しようとする。	定期考査 小テスト	定期考査 実験 小テスト 探究活動	学習記録 探究活動

2学期	**第3部 遺伝情報の発現と発生**	第7章 遺伝現象と物質 第1節 遺伝情報の複製 第2節 遺伝子の発現 第3節遺伝子の発現調節 第8章 発生と遺伝子の発現 第1節 動物の配偶子形成と受精 第2節 初期発生の過程 第3節 発生と遺伝子の発現 第9章 バイオテクノロジー 第1節 遺伝子を扱った技術	a: DNAの構造，遺伝情報の複製･転写･翻訳のしくみ，そして遺伝子発現の調節を学ぶ。 配偶子形成と受精，卵割から器官分化の始まりまでの過程について学ぶとともに，細胞の分化と形態形成のしくみを理解する。 b: 資料に基づき、ＤＮＡの構造や発生の仕組みを科学的に見出すことができる。 ＤＮＡの複製やバイオテクノロジーを関連付けて説明することができる。 c: ＤＮＡの性質や構造を、ＤＮＡの研究史とともに理解しようとする。 ゲノムと遺伝子、染色体、ＤＮＡの関係について理解しようとする。	定期考査 小テスト	定期考査 実験 小テスト 探究活動	学習記録 探究活動
	第4部 生物の環境応答	第10章 刺激の受容と反応 第1節 刺激の受容 第2節 神　経 第3節 神経系 第4節 効果器 第11章　動物の行動 第1節　生得的行動 第2節　学習 第12章 植物の環境応答 第1節 植物の発芽と発生 第2節 発芽と成長	a: 外界の刺激を受容し，神経系を介して，反応するしくみを学び，刺激に対する反応としての動物個体の行動について理解する。 植物の配偶子形成と受精，胚発生と種子の形成，花器官の分化について学ぶ。 b: 資料に基づき､刺激に対する反応としての動物個体の行動や植物の環境応答の仕組みを科学的に見出すことができる。 c: 生物の環境応答の仕組みを動物や植物を総合的に理解しようとする。	定期考査 小テスト	定期考査 実験 小テスト 探究活動	学習記録 探究活動

3学期	**第5部 生態と環境**	第 13 章 個体群と生物群集(9) 第 1 節 個体群とその変動 第 2 節 種内関係 第 3 節 種間関係 第 14 章 生態系(8) 第 1 節 生態系と物質生産 第 2 節 生態系と生物多様性	a: 生物の生活に影響を及ぼしている環境と生物との関係について理解する。生態系における生物多様性に影響を与える要因を理解し，生物多様性の重要性を認識する。 b: 資料に基づき、生態系と環境や生物多様性の仕組みを科学的に見出すことができる。 c: 生態系と環境の仕組みを総合的に理解しようとする。	定期考査 小テスト	定期考査 実験 小テスト 探究活動	学習記録 探究活動

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度